

6月10日は「時の記念日」

今から1347年前の西暦671年6月10日、天智天皇が飛鳥に水時計を設置し、鐘を鳴らして時刻を知らせたという「日本書紀」の記載から『時の記念日』が定められました。

この記念日は、大正9年（1920年）、当時の文部省が「時の展覧会」を開催したことを機に定められました。当時、家に時計がある家庭はほとんどなく、決まった時間に人が集まるということや、仕事を始めるということができなかったようです。そうすると、どうしても時間の無駄ができてしまい、仕事の効率も悪くなるため、国が「国民に時間の感覚を持たせ、仕事や集会の時間を守り、時間を無駄にしない」という願いを込めて定めたようです。そして今、日本ほど時間に正確な国はないといわれるようになりました。さて、皆さんはどうでしょうか？



『時の記念日』を機に、時間を守ることの大切さについて改めて考えてみてください。「桜宮中だより5月増刊号2」でも伝えましたが、「時間を守ること」は社会人としての最低条件です。2年生は職場体験学習をとおして、働くことを実感し、時間の大切さについても学んだと思います。また、1・3年生も、一泊移住・修学旅行という行事をとおして、集団として行動する中で時間を守ることの必要性を学んだと思います。将来、どのような仕事に就くにしても、時間を守れない人が、人から信用されることはありません。中学生時代に、しっかりと時間を守る習慣を身に付けてください。

時間の使い方が上手い人、下手な人

時間を守る習慣ができている人は、「時間の使い方」について考えてほしいと思います。

世の中の全ての人に平等に与えられているのが1日24時間という時間です。しかし、その時間の使い方は、人によって大きな違いがあるのではないのでしょうか。そもそも『時の記念日』ができたのも、無駄な時間をなくするという発想からです。1日に1時間の無駄な時間があれば、1か月で30時間、1年間で365時間の無駄が生まれます。毎日の1時間1時間の授業を大切にできていますか。皆さんには、平等に与えられた『時間』を有効に使ってほしいと思います。そこで皆さんに、時間の使い方が上手い人の時間の使い方のコツを紹介します。

○ 早起きをして、朝の時間を効率的に使う

社会で成功している多くの人が早起きだといわれています。朝早く起きて散歩をしたり、新聞を読んだり、運動をしたり、余裕をもって1日のスタートを切ることが、仕事や学習効果を高めることになります。

○ 先を見て、計画的に行動する

今よりも先のことを順序立てて考えて計画的に行動する。結果として無駄な時間が減り、効率的に時間を使えるようになります。

○ できることから片づけていく

短時間で終わることをその場ですぐに片づけていくことが、結果的に一番効率的な方法です。

○ やるべきことのタイムリミットを決める

時間を決めることによりだらだらと行動することなく、集中して仕事や学習に取り組むことができるようになります。

今、皆さんはどのように時間を使っていますか？学習、睡眠、休養、食事、趣味、家族や友達と共有する時間、有意義な時間の使い方を考えてみてください。

1 学期末テストまで2週間 6月27・28・29日

期末テストまで2週間となりました。中間テストの反省のもと、自分の課題克服に向けて取り組んでいますか。

各学年とも大きな行事にしっかりと取り組み、成果をあげることができました。学習面でもお互いに切磋琢磨し、頑張っていると思います。

学力においても『集団の力』が大きく影響します。各学年、各学級がしっかりと授業に取り組み、集団のレベルを高め、一人ひとりの学力を高めていってください。

勉強の『勉』の意味は、「むずかしさを押し切って励む」、『強』は「ハードに」です。スポーツでいえば「ハードトレーニング」です。勉強は誰にとっても嫌なものかもしれませんが、未来の自分のために、今できること、今やらなければならないことに、しっかり取り組んでください。

		1 限	2 限	3 限
27日 (水)	1 年	英語	理科	音楽
	2・3 年	理科	英語	
28日 (木)	1・2 年	社会	国語	技家
	3 年			
29日 (金)	全学年	数学	保体	



3 年四国・高知方面修学旅行 貴重な体験と心の成長を実感

6月5日(火)～7日(木)の3日間、「自然の中での体験活動を通じて、『ひと』との交流を図る」「ともに過ごす2泊3日の中で、学びながら深める友情を体感する」を目的に高知県への修学旅行に行ってきました。高知県嶺北地域での「民泊体験」では、途中から雨となりましたが、屋内でも充実した体験をさせていただきました。町の皆さんの温かさに触れ、子どもたちにとっては第2の故郷ができたようです。退村式では、お世話になった農家の方々と笑顔いっぱい話をする姿、お互いに涙をこらえながら別れを惜しんでいる姿に、「民泊体験」の充実した成果を感じ取ることができました。

2日目の体験学習・ラフティングでは、インストラクターから櫂の使い方の指導を受け、子どもたちはみるみる上達していき、見事にボートを操っていました。前日からの雨の影響でダイナミックな川下りが体験でき、ラフティングの楽しさを満喫していました。午後からは高知市内散策です。事前に準備した計画のもと、高知の歴史や食を堪能していました。夜のレクリエーション大会では、レクリエーション委員や出演者の活躍で大いに盛り上がり、学年の団結を高める素晴らしい会となりました。

3日目、雨はやみ、桂浜の散策、土佐の郷土料理「カツオのたたき」体験に取り組みました。カツオのたたき体験では、民泊体験でお世話になった方々にご指導いただきながらカツオをさばき、美味しくいただきました。

この修学旅行では、『感謝の気持ちを持って活動する』ことを3年生にお願いしました。お世話になった方々へ手作りのお礼の品を用意するなど、この修学旅行にかかわっていただいたすべての人に、皆さんの感謝の気持ちが伝わったと思います。お世話になった方々からの桜中生へのお褒めの言葉は、その証明です。この修学旅行の経験を生かし、今後の様々な取組やそれぞれの進路に向け、積極的に取り組んでいってほしいと思います。

